

令和5年度進行管理・評価シート
佐賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和4年3月22日認定）
（最終変更 令和6年3月27日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	5
3 松原公園整備事業	6
4 旧馬場家住宅保存修理事業	7
5 山口亮一旧宅保存修理事業	8
6 武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業	9
7 史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業	10
8 歴史的風致形成建造物保存修理事業	11
9 まちづくりファンド活用事業	12
10 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	13
11 三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業	14
12 長崎街道再整備事業	15
13 新馬場通り(松原神社参道)整備事業	16
14 佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業	17
15 緑化推進事業	18
16 幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業	19
17 案内・説明看板及び誘導看板データ化事業	20
18 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	21
19 地域文化保存・継承支援事業	22
20 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	23
21 指定文化財管理台帳等作成事業	24
22 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	25
23 佐賀市文化財総合活用推進事業	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定、保存管理計画の策定	27
2 文化財の修理(整備)、防災に関する事業	28
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	30
⑥その他(効果等)(様式1-6)	31
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	32

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
計画の実施・推進体制		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。
 また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市歴史まちづくり協議会の開催：令和5年5月22日(月)
同協議会では、歴まち事業の進行管理に関する協議を行った。
- 佐賀市歴史まちづくり事業調整会議：開催なし
- 庁内の関係課と、事業に関する実施協議を個別に行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 第24回佐賀市歴史まちづくり協議会
開催日：令和5年5月22日(月)
(議題)
・計画の軽微な変更について(報告)
・佐令和4年度の事業進捗、評価について
・令和5年度事業スケジュールについて



【第24回協議会】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成28年度末までに12路線12区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の町割を継承する佐賀城下町において、時代に沿った都市計画道路の見直しにより、町割の大きな改変が行われることがなくなり、歴史的風致の維持向上に寄与した。
 ●令和5年度：1路線(尼寺小川線(W=13m L=1,670m))の廃止(一部区間見直し)について県と協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

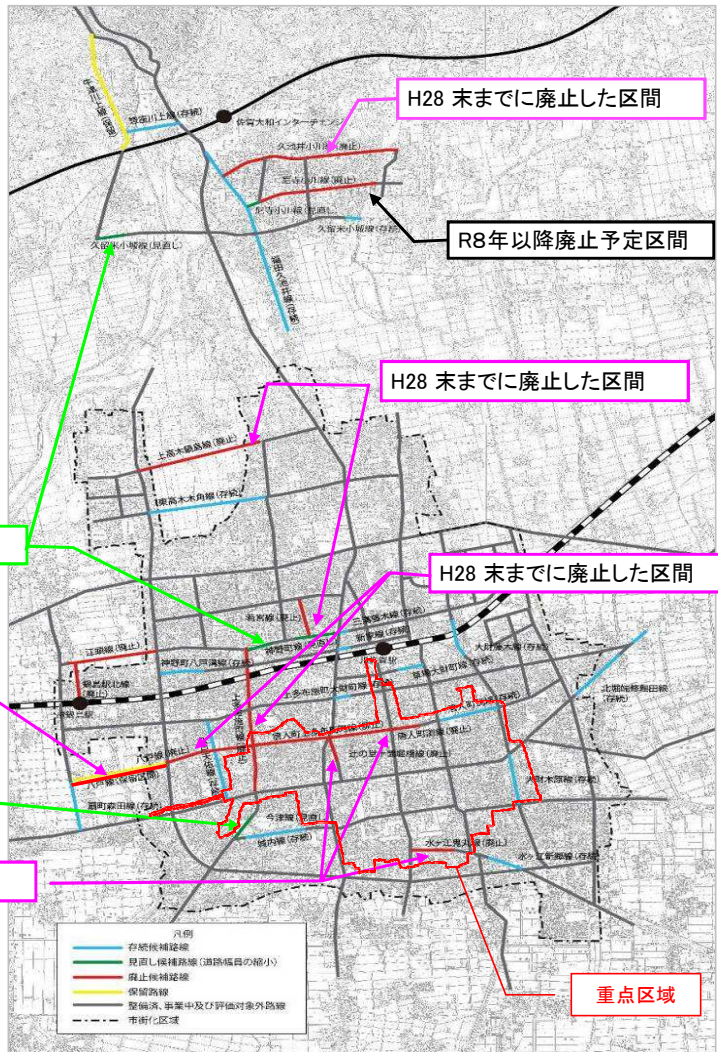
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直し
(平成17、18年度)

旧佐賀市の都市計画道路
 見直し対象路線：25路線 26区間
 (約18.21km)
 見直し結果：存続 14区間
 廃止 10区間
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路
 見直し対象路線：6路線 8区間
 (約8.20km)
 見直し結果：存続 2区間
 廃止 2区間
 見直し 3区間
 保留 1区間



【都市計画道路網見直図】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用と景観条例の運用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

本市では、景観法に基づく佐賀市景観条例及び佐賀市景観計画を平成24年度に施行し、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付けている。そのエリアの一つである「佐賀城下町周辺エリア」は、重点区域の「佐賀城下町地区」を包括した区域となっており、「景観形成地区」(長崎街道・柳町景観形成地区、城内景観形成地区)では、それぞれに景観形成方針、景観形成基準等を定め、当該地区内の良好な景観形成を図っている。
 また、景観計画では、本市全域を景観計画区域とし、一定規模以上の建築物等の新築、増築、外観の変更を伴う修繕などを行う場合には、事前の佐賀市長への届出又は通知を義務付け、良好な景観の形成に向けた誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を包含する景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」では、はり紙等の屋外広告物のパトロールや撤去を重点的に実施し、歴史的風致の維持向上に努めた。また、景観の重要性についての市民意識の向上を促進することを目的として以下の2つの事業に取り組んだ。

- ・歴史と文化あふれる佐賀市の54か所の景観スポットを紹介したヨカトコまっぷ発行
- ・景観ウォッチングを2回開催した。(1回目:城内まち歩き、2回目:長崎街道・柳町周辺まち歩き)

●平成23年10月「景観条例」制定 平成24年1月「景観計画」変更 平成24年4月「景観条例」施行

●令和5年度:

○景観法に基づく届出等の件数

市域全体:89件(景観形成地区を除く。)

長崎街道・柳町景観形成地区:1件

城内景観形成地区:14件

風致地区:2件

○景観ウォッチング～城内まち歩き～、景観ウォッチング～長崎街道・柳町周辺まち歩き～の実施

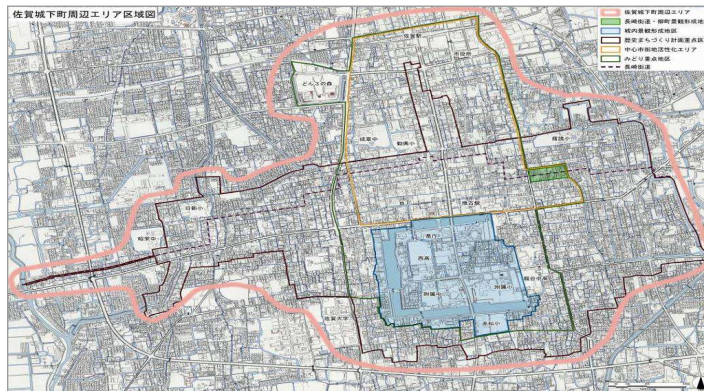
○ヨカトコまっぷ(景観マップ)の発行

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」】

	佐賀城下町周辺エリア		長崎街道・柳町景観形成地区		城内景観形成地区
	重点区域(歴史まちづくり計画)		中心市街地活性化エリア		みどり空間形成



↑景観ウォッチング～城内まち歩き～の様子】



↑【景観ウォッチング～長崎街道・柳町周辺まち歩き～の様子】



↑【ヨカトコまっぷ】



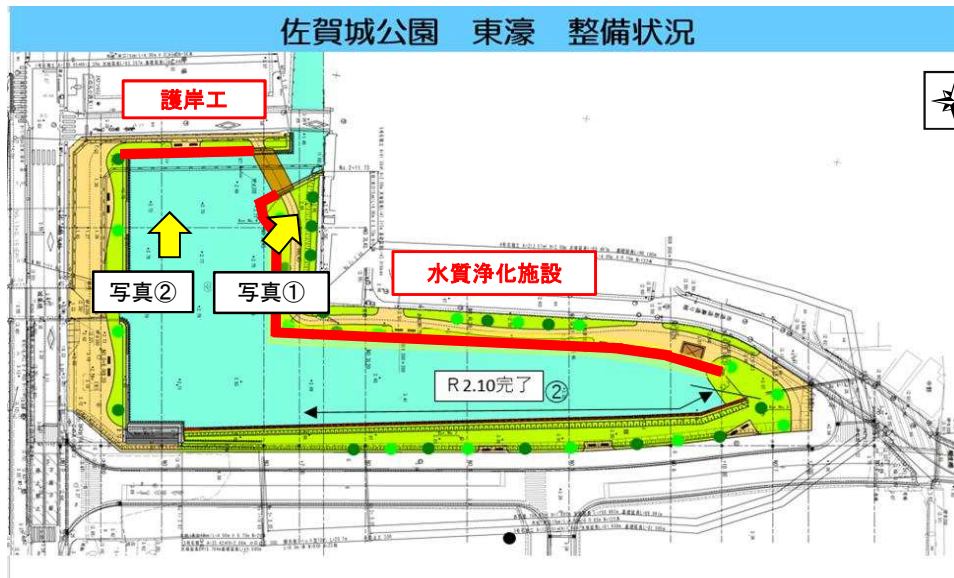
↑【違反屋外広告物撤去活動の様子】

評価軸③-1

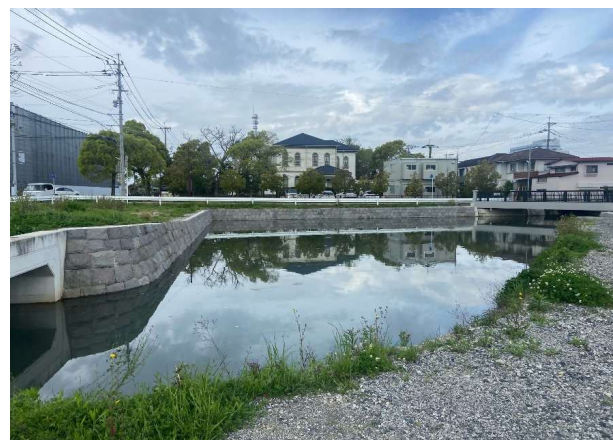
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
佐賀城公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和43年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)		
計画に記載している内容	第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●令和5年度：用地補償において、公園区域内のNHK佐賀放送局の用地補償契約、解体工事を実施した。 施設費において、R4年度に引き続き東堀復元として、護岸工、水質浄化施設の整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



【① 水質浄化施設】



【② 護岸工】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成した。昭和36年から昭和38年にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和5年度: 修繕工法等の検討・情報収集

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 文化庁との協議で石垣の耐震診断の必要性が指摘されたが、令和5年度に文化庁から示された石垣の耐震診断指針案を参考にし、また引き続き情報収集も行いながら石垣の耐震診断及び修繕工法等の検討を進め、それらを踏まえた鯨の門の保存修理の検討を行う。

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」】



【西面から】



【東面から】

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
松原公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 松原公園の整備は、これまでに全体計画区域を定めた上で、国宝を含む佐賀藩鍋島家伝来の歴史資料を所蔵・展示する徴古館周辺を第一期区域として借地公園の手法により整備し、公園の開設を行った。
 今後も、整備可能な区域から順次公園区域を拡大し、整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

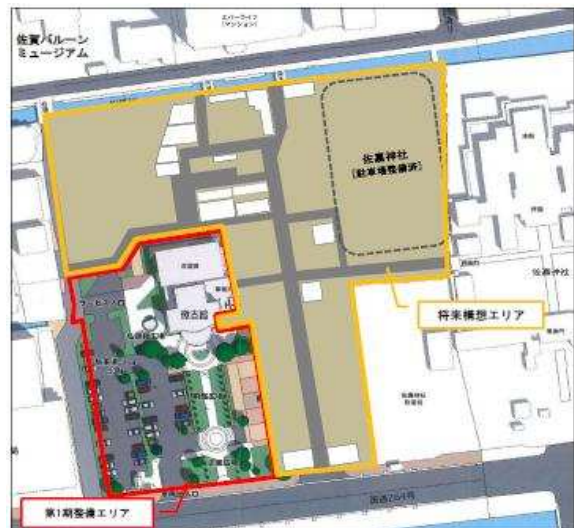
- 平成30年度、令和元年度、令和2年度：関係者協議
- 令和3年度：松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会を設置
令和3年8月6日(金)、令和4年3月29日(火)に懇話会を開催した。
- 令和4年度：令和4年8月18日(木)、令和5年1月27日(金)、令和5年3月27日(月)に懇話会を開催した。
- 令和5年度：松原公園整備基本構想策定会議を設置し、令和5年11月30日(木)に会議を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公園整備にあたっては、土地所有者との協議を十分に行う必要があるため、整備基本構想策定に関する予算を令和6年度へ繰越を行った。

状況を示す写真や資料等



【松原公園第一期整備エリアの現況(南から)】



【松原公園整備将来構想エリア図】



【基本構想策定会議】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
旧馬場家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	<p>旧馬場家住宅は、18世紀末から19世紀初頭の建築とされ、佐賀藩の藩医を務めた漢方医の高宗弘堂が居住し、この家で開業したと伝えられる。表構えは土蔵造で、他の町家とさして変わらないが、間取りは武家屋敷に近いものとなっている。表の腕木門も同時期のものと考えられ、江戸期建築の貴重な歴史的建造物である。</p> <p>平成31年(2019)に所有者から本市へ寄附されたこの旧馬場家住宅の、保存修理及び公開活用のための改修を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度：一部漆喰壁の応急的修理、下屋の解体工事 ●令和5年度：建物の業況調査 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>旧馬場家住宅が建つエリアは、佐賀市歴史民俗館として運営している建物など、多くの歴史的建造物が残るエリアである。そのため、旧馬場家だけでなく、周辺の建造物との関係を考えながら保存修理や活用方法を検討していく必要がある。</p>		
状況を示す写真や資料等			
			
【旧馬場家住宅】			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
山口亮一旧宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 明治期の佐賀を代表する洋画家として知られる山口亮一画伯の居宅で、城下西側の武家地に位置している。主屋は、白石の須古の医師であった山口家が江戸時代(天保期)に移築されたものと伝えられている。明治期及び戦後に大幅な改築が行われているが、武家屋敷が少ない佐賀城下のなかで、往時の雰囲気を残す建造物として価値が高い。平成4年(1992)に本市に寄附されたのち、平成18年(2006)から、展示会、講演会、趣味の講座等の会場として活用してきたが、老朽化が著しいことから、保存・活用のための修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和4年度：現況調査、簡易耐震診断
- 令和5年度：精密耐震診断の実施
耐震改修の方法、保存活用計画の方向性を検討

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 建造物の歴史的価値の保持、活用の利便性等を向上するため関係者との協議を進め、歴史的価値を活かす保存計画を策定していく。

状況を示す写真や資料等



【外観(北西面)】



【外観(南面)】



【内観】



【過去の活用の状況】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
武家屋敷の門(中の小路)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和4年度～令和8年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 武家地のなかでも上級武士の屋敷地が立ち並んでいた中の小路に、唯一現存する武家屋敷の門である。構造形式は極めて質素であるが、佐賀城下の上級武士の武家屋敷遺構が少ない中、往時の雰囲気を残す門として価値が高い。昭和46年(1971)に市の重要文化財に指定されて以降、小規模な修理を積み重ねながら維持してきたが、屋根瓦のずれが大きくなり、全体的に老朽化が著しくなったことから、大規模な保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和5年度:所有者(管理者)との協議、保存修理方法の検討

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者等による武家屋敷の門周辺の利用状況が変化しており、また、所在地及び周辺地・建物等の所有者変更の可能性も生じていることから、引き続きこれら状況の変化に応じて調整を図りながら、文化財の再調査も含めた保存修理の具体的な方法を検討する。

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「武家屋敷の門(中の小路)」】



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 史跡範囲の大部分は、地下の遺構の保全を図った上で、「佐野記念公園」として整備されている。現在、仮整備として遺構の一部の平面表示を行っている。来訪者に史跡三重津海軍所跡への理解をより一層深めてもらうため、遺構の平面表示などの史跡整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

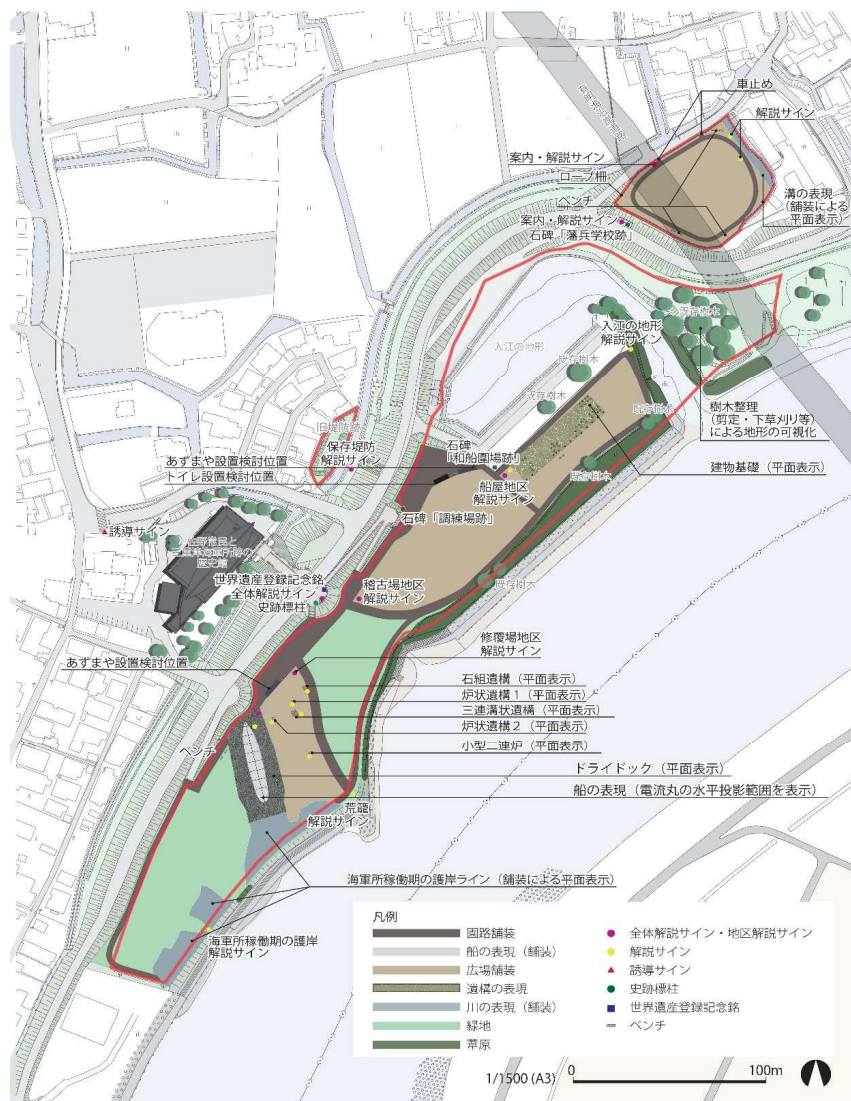
令和5年度：三重津海軍所跡整備（屋外展示）の実実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

史跡三重津海軍所跡 全体平面図（整備計画案）



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。

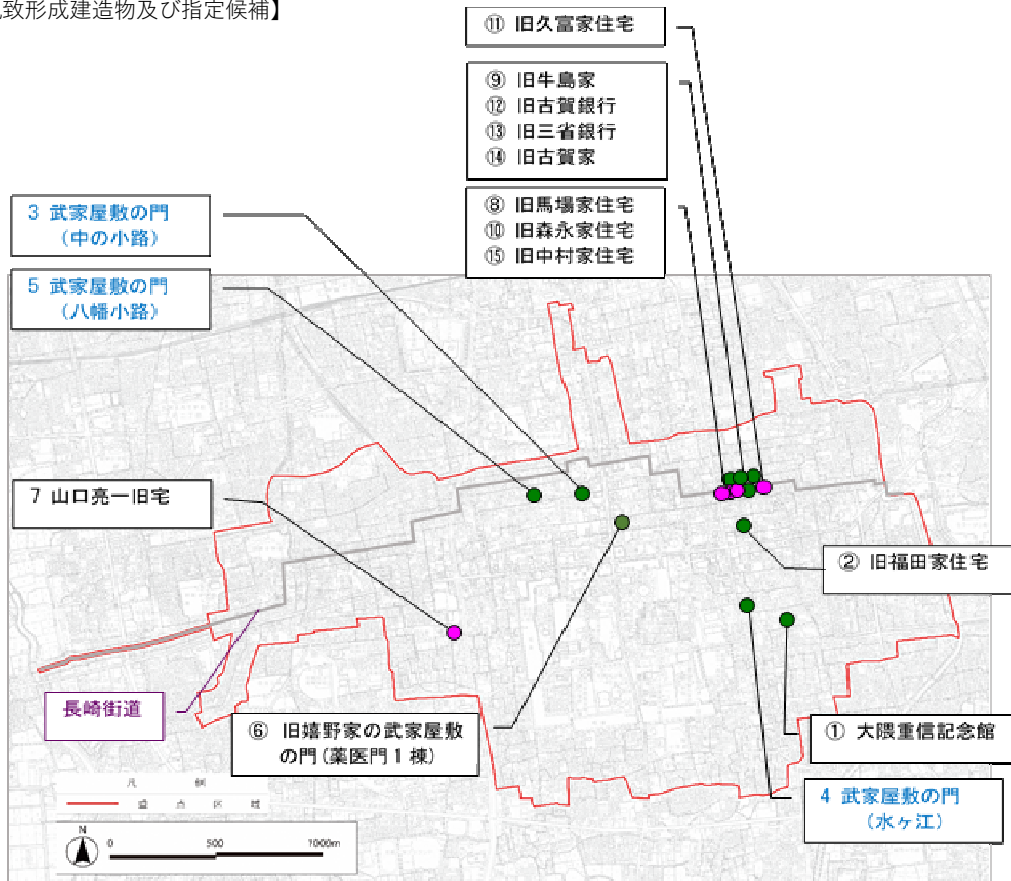
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和5年度:
○歴史的風致形成建造物指定: 0件(指定候補15件のうち12件は指定済)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物及び指定候補】



歴史的風致形成建造物及び指定候補
(青字は指定候補)

- 市指定文化財及び登録有形文化財
- 文化財未指定の歴史的建造物

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
まちづくりファンド活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和13年度		
支援事業名	佐賀市ふるさとづくり基金		
計画に記載している内容	佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業 ② 中央大通り沿線賑わい空間創出事業 ③ 歴史的建造物等活用事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度採択事業 2件 ●(株)まちなか不動産:本市が定める中央大通りトータルデザインに即した建物に改修し、良好な景観形成に寄与した。 ●成富利英:周囲の景観と調和したファサード整備を行い、良好な景観形成に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●(株)まちなか不動産 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【着工前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【着工後】</p>  </div> </div>			
●成富利英 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【着工前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【着工後】</p>  </div> </div>			

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
案内・説明看板及び誘導看板整備事業			現在の状況
			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和13年度
支援事業名	重点区域内：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 重点区域外：市単独事業

計画に記載している内容
案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。
重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和4年度：既存説明看板3基の修繕
●令和5年度：既存説明看板7基の修繕
新規看板等の設置(義祭同盟、佐野孺仙屋敷跡)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域外の看板整備について未実施であり、設置箇所や現状等の調査が必要。

状況を示す写真や資料等

【令和5年度設置・修繕箇所】

設置：義祭同盟、佐野孺仙屋敷跡

修繕：長崎街道(元町)、通小路、椎小路、

枳小路、会所小路、中ノ橋小路、牛嶋口跡

【1】義祭同盟

【2】佐野孺仙屋敷跡



【1】長崎街道(元町)



【3】椎小路



【7】牛嶋口跡

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
三重津海軍所跡周遊ルート環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつである三重津海軍所跡やガイダンス施設である「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」への誘導を円滑かつ安全に行うとともに、周辺に点在する歴史的資産や街なみを快適に散策できるように、周遊ルートの環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度：実績なし 令和5年度：実績なし			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和5年3月20日、史跡「三重津海軍所跡」の追加指定が行われた。今後の屋外整備を考慮しながら周遊ルート環境整備を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>景観に配慮した防護柵 (イメージ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>誘導カラー舗装 (イメージ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>誘導看板 (イメージ)</p> </div> </div>			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
長崎街道再整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 曲がり角が多い長崎街道は道筋がわかりにくい上に、新たな都市計画道路や開発で分断されている部分もある。このため、長崎街道沿線に残る歴史的建造物や赤石護岸、棚路を探訪しながら、気軽に長崎街道を歩けるように、長崎街道の道筋を明確化する舗装の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：測量設計(委託)実施、整備計画策定
- 平成27年度：整備延長 L=750m
- 平成28年度：整備延長 L=455m
- 平成29年度：整備延長 L=600m
- 平成30年度：整備延長 L=420m
- 令和元年度：整備延長 L=562m
- 令和2年度：整備延長 L=310m
- 令和3年度：整備延長 L= 81m
- 令和4年度：事業実績なし
- 令和5年度：事業実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

第2期計画に基づき、必要な整備を行う。

状況を示す写真や資料等

【位置図】



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
新馬場通り(松原神社参道)整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 松原神社参道は、かつては木・銅・石の鳥居及び両脇参道に灯笼などが立ち並び、沿線には旅館などが建ち賑わっていたが、現在は石の鳥居が唯一残っている状態である。
 現在、市民団体による参道の復活を目指したまちづくりが進められており、この運動と連携した松原神社参道(市道)の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：新馬場通りデザインルール策定
- 平成30年度～令和元年度：関係者協議
- 令和2年度：関係者協議、測量・設計委託業務
- 令和3年度：隣接地権者との道路整備方針決定、試掘調査、工事準備、着工
- 令和4年度：掘削作業中に木柱、赤石等が発掘され、文化財課による調査のため工事休止中。
- 令和5年度：高質化工事実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

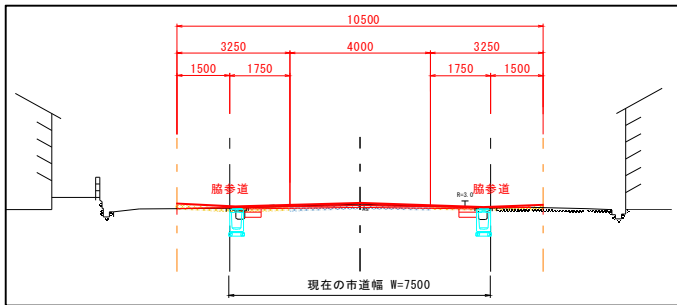
状況を示す写真や資料等

【位置図】

【令和5年度整備箇所：松原三丁目】



【計画横断面図】



【大正時代頃の参道(東から)】



【現在の新馬場通り(東から)】

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
佐賀市歴史民俗館周遊ルート及び駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	来訪者のための2箇所の駐車場の再整備と佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートの舗装の高質化事業及び水路護岸の整備を行う。
-------------	---

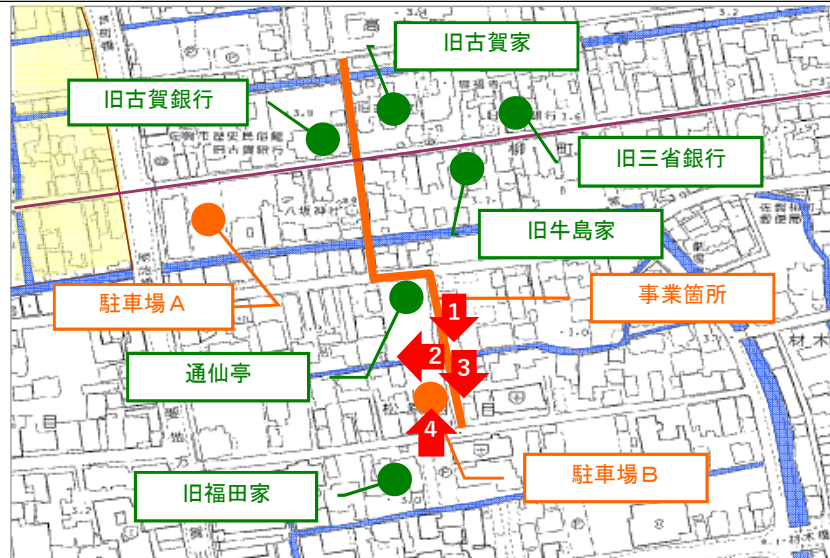
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和2年度、令和3年度：関係者協議
- 令和4年度：護岸築造測量設計
- 令和5年度：護岸改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	他事業の進捗状況を考慮した上で、関係者と協議を行う。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



1. 連絡通路
奥は駐車場B



2. 水路護岸の整備【施工済】



3. 連絡通路



4. 駐車場B

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)助成制度
市単独事業

計画に記載している内容 平成20年度に施行した「佐賀のみどりあふれるまちづくり条例」に基づき、公共施設の緑化推進や自治会などが公共的な場所で行う地域環境緑化活動への支援、民有地の緑化に対する支援などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- みどり重点地区内の事業
 - ・緑化啓発活動：7件
 - ・自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援：22団体(花苗、多年草苗 24,366苗)

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【花づくりボランティア活動 (中央大通り)】



【パークメイト (市役所前公園)】



【花とみどりのまちづくりリーダー緑化活動
(駅前まちかど広場)】



【みどりめで隊の活動 (佐賀市役所庁舎玄関)】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
幕末佐賀藩近代化産業遺産の保全及び活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和4年度～令和13年度
------	--------------

支援事業名	市単独
-------	-----

計画に記載している内容	佐賀藩が他藩に先駆けて近代化に取り組んだことを示す資産群(「幕末佐賀藩近代化産業遺産」)について、適切な保全を行いながらさらなる調査を進め、佐賀藩の果たした功績を広く市民及び来訪者に周知するとともに、次世代に継承していくための取組を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

●令和5年度：精煉方跡の発掘調査を実施。1月21日に現地説明会を開催予定であったが、雨天のため中止。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【精煉方跡発掘調査】



居宅部分発掘調査地全景（北西から）



居宅部分調査区北西部近景（南東から）

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
案内・説明看板及び誘導看板データ化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市に点在する指定文化財や歴史資産の案内・説明看板、誘導看板を統一感のあるデザインにより作成し、これまでに98基の設置を行ってきた。これらの位置や記載内容をデータ化し公開する。その際には、看板サイズの関係から版面への掲載を見送った内容や写真等を新たに追加し、内容を充実させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度：
佐賀県が再整備した、佐賀の歴史を学べる学習コンテンツ上に、佐賀市が平成27年度から令和2年度にかけて設置した98基の看板のうち、誘導看板を除く73基の案内・説明看板のデータを掲載した。
令和5年度：実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【コンテンツ画面】

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
徴古館を活かしたまちづくり推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	(公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」(平成20年10月3日締結)及び「まちづくりに関する基本協定」(平成31年3月8日締結)に基づき、徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、企画展及び企画展に関連した各種イベントを開催した。また、徴古館に隣接する佐嘉神社が創建90年を迎え、鍋島報効会、佐賀城本丸歴史館、佐嘉神社、佐賀市が連携し、各々で展示を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●展覧会(徴古館)

- 佐嘉神社創建90年記念「佐嘉神社と鍋島家」展
 (同時開催)徴古館企画展 第100回記念「徴古館 再開後のあゆみ」展
 (同時開催)パネル展示「佐賀市松原の歴史」展
 令和5年9月30日(土)～11月26日(日) 入館者数 998人
- 鍋島家の雛祭り：令和6年2月10日(土)～3月20日(水・祝) 入館者数 8,589人 関連イベント5,931人



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

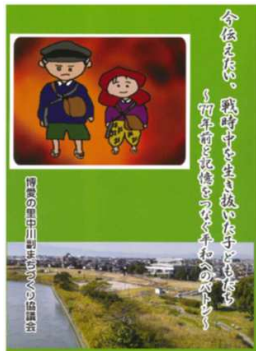
(令和5年度採択事業／概要)

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業：0件
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業：2件
 - 中川副校区発信 戦争体験伝承事業／中川副地域の戦争経験者の体験談をまとめた冊子を作成し、地域の小・中学生等に伝えて地域の悲慘な経験の歴史に関する認識を深める事業を行った。
 - 北村天満宮補修事業／大和町駄市川原地区の重要な地域資源である北村天満宮の本殿の屋根等の補修を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度は応募が少なかったため、今後、補助事業に関する効果的な周知や、内容を分かりやすくする等の工夫をおこなう。

状況を示す写真や資料等

【中川副校区発信戦争体験伝承事業】



【北村天満宮補修事業】



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

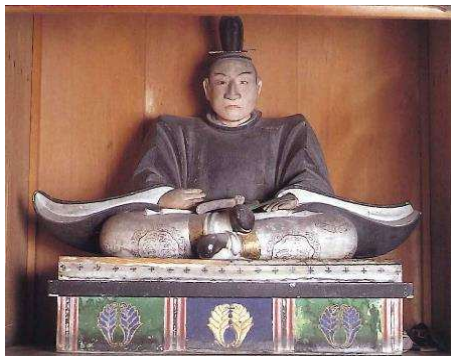
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 89件
 (目的)
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことにより、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

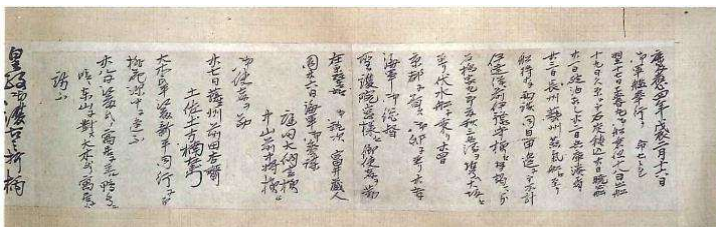
- 令和5年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧
 - 佐賀市指定重要文化財の管理者：58件
 絵画 4件、建造物 12件、工芸品 12件、古文書 3件、書跡 3件、彫刻 14件、美術工芸 3件、歴史資料 6件、石造物 1件
 - 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者：8件
 - 佐賀市指定史跡の管理者：12件
 - 佐賀市指定天然記念物の管理者：11件



木造鍋島直坐像 (1 軀)
 市重要文化財 (彫刻)
 所有者等 高伝寺



大涅槃像
 市重要文化財 (絵画)
 所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記 (1 巻)
 市重要文化財 (書跡)
 所有者等：個人



大小野の石楠花 (1 株)
 市天然記念物
 所有者等 個人

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
指定文化財管理台帳等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市には、国・県・市の指定文化財が合わせて226件(令和3年(2021)10月31日現在)あるが、それらの文化財に関する詳細な情報や、指定に至る経緯等を記した資料については、個別の紙媒体しか存在しない。そこで、これらの情報を一元化し記録検索が行える管理台帳及び要覧を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財課及び各支所に保管されていた指定文化財関連資料等の収集・整理

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各資料の作成当時の年代や作成した合併前町村等によって異なる様式等で保存されている指定文化財の関連資料について、検索等が行い易い管理台帳に一元的に集約できるように引き続き整理及び関連資料の確認等を行う。

状況を示す写真や資料等

【収集・整理中の国、県及び市指定文化財関係紙媒体資料】



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 12無形民俗文化財 13団体
 国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、無形民俗文化財の保存会等が実施する活動(行事の運営等の活動に係る経費、継承等につながる活動に係る経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体
 指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度以降コロナ禍により行事の実施が困難な状況となっており、そのような中でも各地域で無形民俗文化財を地域固有の文化として引き続き継承していけるよう、行政と保存会等が協力しながら支援を実施してかなければならない。

状況を示す写真や資料等

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 申請対象保存会一覧
 (新型コロナウイルス感染症の影響で中止や規模縮小あり)

	名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1	白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2	見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野神社	加勢鳥保存会
3	浮立玄蕃一流	市指定	神野町西神野	掘江神社	東神野天衝舞浮立保存会
					西神野玄蕃一流浮立保存会
					草場浮立会
4	高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
5	小松の浮立	市指定	蓮池町小松	小松神社	小松浮立保存会
6	三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
7	太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
8	市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
9	海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	海童神社奉納浮立保存会
10	松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	松枝神社奉納浮立保存会
11	東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
12	快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会

- 指定無形民俗文化財保存会代表者会議(令和5年4月27日開催) 12無形民俗文化財、13団体
 - ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
 - ・各団体の課題・問題点などの意見交換

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
佐賀市文化財総合活用推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和6年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)

計画に記載している内容 本市の国・県・市指定無形民俗文化財の代表者等で構成される、佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が実施する無形民俗文化財の映像記録作成等に対し、引き続き財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財総合活用推進事業 2件(浮立玄蕃一流(西神野)、市川天衝舞浮立)
 指定無形民俗文化財の保存会の代表者で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が、文化庁及び市からの補助を受けて無形民俗文化財の映像記録を作成し、各保存会の活動等において活用を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 近年のコロナ禍により当初予定していた映像記録作成が実施できず、まだ6団体(行事)の映像記録作成ができていない。文化庁補助事業が令和6年度も継続されることとなったため、これを活用して令和6年度に2団体の記録作成を実施予定であるが、残る未作成団体についても、事業期間の延長や今後の財源をはじめ、作成時期、方法等を検討する。
--	---

状況を示す写真や資料等

- 実行委員会の開催 (令和5年4月27日開催) 12無形民俗文化財、13団体
 - ・令和5年度映像記録作成文化財(保存団体)の決定
- 文化財総合活用推進事業
 - ・令和5年度映像記録作成文化財
 - 実施 2件: 浮立玄蕃一流(西神野)、市川天衝舞浮立
 - 中止 1件: 松枝神社奉納浮立(映像記録作成に足りる状態での行事実施が困難となったため)

【作成した映像記録DVD】



評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定、保存管理計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。 ●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財調査 ○市域全体 確認調査136件 本調査5件 ○うち歴まち計画重点区域 確認調査2件 本調査0件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●歴まち計画重点区域内確認調査状況 【周知の埋蔵文化財包蔵地外（新馬場通り）】  <p>参道関連石組遺構検出状況（南から）</p>  <p>欄干茶屋跡遺構検出状況（南から）</p>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)、防災に関する事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理
 - 佐賀市重要文化財 国相寺の楠 樹勢回復のための枯れ枝等伐採
- 防災関係の取り組み
 - 文化財防火訓練
 - ・令和6年1月21日(日) 吉村家住宅(重要文化財)
 - ・令和6年1月21日(日) 与賀神社(重要文化財等複数所在)
- 防犯対策の取り組み
 - 重要文化財である佐賀城鯨の門及び続櫓や、市指定の文化財を収蔵している肥前国庁跡資料館、文化財資料館について、警備委託を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●文化財の修理

- 佐賀市重要文化財
国相寺の楠 樹勢回復のための枯れ枝等伐採



●文化財防火訓練

- 与賀神社(重要文化財(楼門、石橋))
- 吉村家住宅(重要文化財)



	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ●文化財に関する普及啓発の取り組み
 まちづくりの市民団体と連携し、歴史資産についての正確な情報提供を積極的に行って、市民や来訪者に本市の魅力を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 主な普及啓発事業
 - 歴史、文化をテーマとした講演会や出前講座の開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 歴史・文化施設 令和5年度来場者数
 - 徴古館：9,815人(企画展(1回)、「鍋島家の雛祭り」、その他イベント)
 - 大隈重信記念館：9,923人(企画展「大隈重信と津田梅子」、その他イベント)
 - 佐賀市歴史民俗館：146,886人(佐賀城下ひなまつり、県維新博メモリアル展示「葉隠」、公募イベント)
 - 佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館：16,868人
(企画展「篤志看護婦人会 たをやめもこころはたけき」、その他イベント)
- 歴史・文化に関する公民館講座：開催回数 143回、参加人数 延べ 3,440人
- その他、シンポジウム・講座・イベント等

No.	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	東名遺跡出前授業 (小学校)	5月11日～6月30日 (25日間)	22校 1,421名	小学6年生を対象に、東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる授業を行った。
2	東名遺跡体験イベント (東名縄文館・東名遺跡縄文まつり・金立町はがくれの里祭り)	5月27日～11月25日 (4回)	約340名	東名遺跡の整備に向けて、地元でモノづくりなどの様々な活動がされている方々の力を借りながら、東名遺跡を知ってもらう機会づくりと同時に、これから一緒に活動をしていただける方々の繋がりを広げるためのきっかけづくりとして、「本物の土器に触ってみよう」「火起こし体験」「竹とんぼづくり」「マイ箸づくり」「綿の実に触ってみよう」などの体験イベントを開催した。
3	世界遺産登録記念日パネル展 (佐賀市役所市民ホール、佐野・三重津歴史館)	7月3日～8月10日	1,452名	世界遺産や三重津海軍所跡についての周知及び現地への来訪促進のため、世界遺産登録記念日に合わせて、佐賀市役所市民ホール及び佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館でパネル展を行った。
4	東名遺跡体験学習 (貝輪づくり)	7月22日	59名	現生のベンケイガイを材料に、縄文時代と同じ道具(石と鹿角)を使って貝輪をつくる体験学習を行った。
5	肥前国庁跡体験学習 (ハンコづくり)	7月28日～8月2日	26名	古代のハンコや国庁について学習し、発泡スチロールを使ったハンコづくりの体験学習を行った。
6	九州陸上競技選手権大会における世界遺産「明治日本の産業革命遺産」広報活動 (SAGAスタジアム)	8月18日、19日	2,500名	九州陸上選手権大会にて、三池エリア(宇城市、大牟田市)と連携し、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の広報活動を行った。(特設ブースでのパネル展示、パンフレットやノベルティの配布等)
7	東名遺跡企画展 (東名縄文館・市立図書館、吉野ヶ里展示室)	8月18日～1月14日 (129日間)	33,641名	『縄文時代の生きもの-東名遺跡の動物たち-』と題し、東名遺跡から出土した日本最古級の動物性遺物を中心に展示公開し、東名遺跡周辺に生息していた動物について紹介した。
8	おもしろ縄文講座 (佐賀市立図書館)	8月23日・10月14日・ 11月23日 (3回開催)	107名	第1回は「何の動物の骨? -東名遺跡の動物を調べよう-」と題し、東名遺跡から出土した動物骨を現生標本と比較して、何の動物で、どの部分の骨かを特定するワークショップを行った。第2回は『九州の旧石器から縄文時代の遺跡』と題し、九州を代表する旧石器から縄文時代遺跡である福井洞窟(長崎県)と上野原遺跡(鹿児島県)の調査成果や価値の他、保存・整備・活用への取り組みとその課題について紹介していただいた。第3回は「考古イラスト教室 -縄文の世界を描こう!!-」と題し、東名遺跡の出土遺物をモデルに、水性ペンとクレパスでイラストを作成した。
9	古文書講話会 (佐賀市立図書館)	10月3日～12月5日 (3回開催)	84名	『古文書を読んでみよう』と題し、『謙早家文書』の日記類の中から、幕末産業遺産遺跡に関する事柄の書かれた部分を抜粋して講座を開催した。
10	「佐嘉神社創建90周年歴史写真展～受け継がれる想い～」 (佐賀市役所市民ホール)	10月6日～10月20日	—	佐嘉神社創建90周年を記念し、6月に佐嘉神社で開催された写真展のパネルを展示した。
11	縄文トークイベント (佐賀市立図書館)	10月10日	57名	「東名遺跡と縄文文化」と題し、東名遺跡の特徴や重要性に触れながら、縄文文化の魅力や一般に伝えるトークイベントを開催した。
12	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」広報活動 (九州佐賀国際空港)	10月23日～11月6日	2,620名	三池エリア(荒尾市、宇城市、大牟田市)と連携した広報活動として、九州佐賀国際空港にてパネル展示とご当地キャラによる明治日本の産業革命遺産〇×クイズを開催した。
13	佐野・三重津歴史館見学会	11月25日	19名	「NBCラジオパーソナリティーと深掘り! 『佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館』見学会」と題し、NBCラジオパーソナリティーの進行で、歴史館内、中川副公民館、佐野常民生誕地、早津江川遊覧船クルーズなど盛りだくさんの見学会を開催した。
14	東名遺跡体験学習 (編みかごづくり)	11月25日	34名	縄文人の知恵や技を体感するため、クラフトテーブルを用い、東名遺跡の編みかごに見られる網代編みを中心に、小型かごの作成を行った。
15	肥前国庁企画展 (肥前国庁資料館)	12月19日～3月17日	863名	企画展「佐嘉郡と神埼郡」と題し、各部の部衙や関連遺跡について、これまでの発掘調査の成果や出土遺物について展示解説し、その実態を探った。
16	肥前国庁歴史講座 (肥前国庁資料館)	12月23日～3月16日 (4回開催)	129名	「佐嘉郡と神埼郡」を題材に、講師を招き講座を開催した。

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和5年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
縄文時代の生きものに迫る 佐賀で東名遺跡の企画展	令和5年8月22日	朝日新聞	
地域の象徴・旧「島薬局」取り壊しへ	令和5年11月7日	佐賀新聞	
国の登録有形文化財に「旧松野家住宅」(佐賀市大和町)明治期の村長宅	令和5年11月24日	佐賀新聞	
松原公園、基本構想策定へ 佐賀市、整備具体化会議スタート	令和5年12月5日	佐賀新聞	
盾持人埴輪 佐賀市重文に 築山古墳から出土	令和6年2月22日	読売新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

佐賀の歴史や文化に対する取り組みを市民等に知ってもらうため、市ホームページや市政記者、他の媒体による積極的な広報に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

著作権関係で新聞記事掲載なし

評価軸⑥-1

その他(効果等)

	評価対象年度	令和5年度
項目		

その他(効果等) 佐賀市民意向調査

計画に記載している内容 無形の文化財の祭事日程に関する広報、埋蔵文化財発掘調査の現地報告会や考古展の開催など、文化財に対する市民啓発活動を実施しているが、市民の文化財に対する意識は、まだ高いとはいえない状態である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 令和5年度
 - 施策「未来につなげる文化の振興」に対する現状の満足度 : 57.4% (全36施策中5位) 【前年度調査比-1.4ポイント】
 - 日常の取り組み「歴史関連イベント等に参加・活動した割合」 : 12.0% 【前年度調査比+2.1ポイント】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

■佐賀市民意向調査

佐賀市総合計画において「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施。

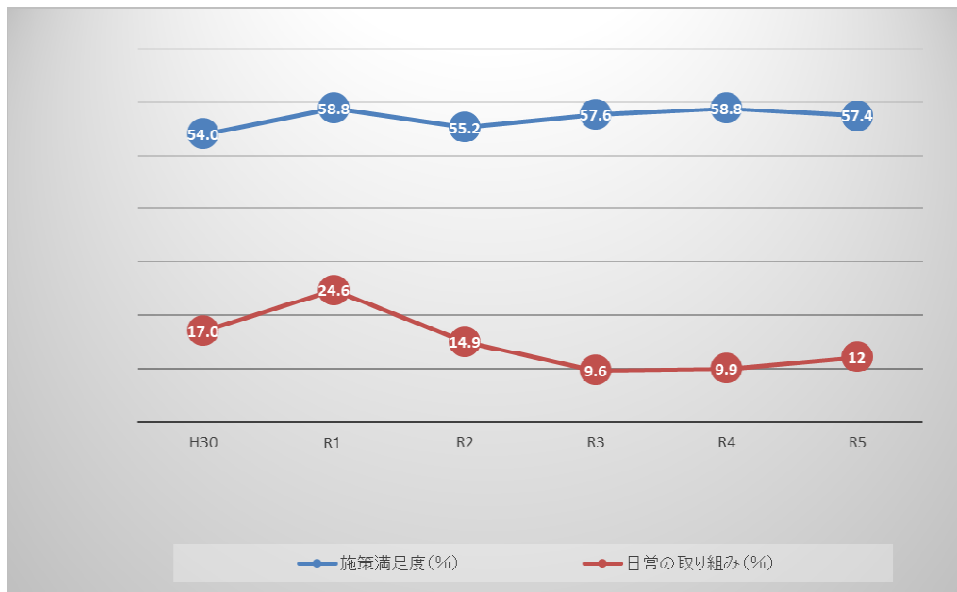
- 調査地域 佐賀市全域
- 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女 : 5,000人
- 抽出方法 旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別は無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布、郵送による回収
- 調査期間 令和5年5月11日～5月24日

●施策に対する現状の満足度 : 「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合

- 施策名 未来につなげる文化の振興
- 成果目標 市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。

●日頃の生活における「取り組み」 : 「よく参加・活動した」と「ときどき参加・活動した」を合わせた割合

- 設問 過去1年間の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：佐賀市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時：令和6年6月27日	
(コメントの概要)	
(今後の対応方針)	